

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

12

2018 No.771

3 はじめの言葉

4 豊富な資源活用での企業システムの意義

田原文夫

インターネットテクノロジー、クラウドコンピューティングサービスなど、社会的なシステムリソースが圧倒的に豊富になっている今日である。それらのリソースの活用方法も容易になっている。業務アプリをユーザー企業自身が直接開発する機会は、圧倒的に少なくなっている。これら豊富なコンピューティングリソース使うことで何を成し遂げようとしているのか。その根源的理由を確認してみたい。

10 情報社会を考える その99

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

高度な人事戦略？

最長政権となった安倍晋三政権だが、あいからず本人および周辺人を震源とする疑惑「モリカケ問題」は解消されていない。不名誉な疑惑に包まれたまま。本人は口先だけの「きちっとした説明をする」というものの、口から出ている説明内容には、きちっとしたものが微塵もない。しかし、外交に精出し、海外に勇躍？しようということかは別にして直近の組閣において新入閣した2人の大臣すなわち片山さつき内閣府匿名担当／女性活躍担当大臣、桜田義孝五輪担当／サイバーセキュリティ担当大臣が、就任直後より野党からの追求の矢面に立たされている。

12 デジタルガバメント DG11

デジタル政府の展開 その11

水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018年1月16日に日本政府もデジタルガバメント実行計画をeガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28年1月16日から2023年3月31日までの計画である。2018年上半期を目途に各府省庁における中長期の戦略的な計画を策定をする。電子政府はICTを使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客（国民、企業、職員）側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりがやすく、何時でも何処からでも誰でも使えることを目的としている。

2 0 連載 アーキテクチャ論 (92)

EA と DX

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

これまで、経済産業省のデジタル変革の取り組み[1]について紹介してきた。本稿では、エンタープライズアーキテクチャ(EA)とデジタル変革(DX)の関係について説明する。まず、デジタル変革用語について説明する。次いで、デジタル変革によって実現されるデジタルエンタープライズの特徴を紹介する。さらに、EA と DX の関係を整理する。

2 6 連載 情報システム考

企業情報システムの変遷と行方 第15回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社(社員)レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経/血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

3 2 IT新時代とパラダイム・シフト

第109回 サイバーセキュリティ担当大臣の

ICTオンチに世界が衝撃

根本忠明

サイバーセキュリティ担当大臣(兼オリンピック担当大臣)に就任した桜田義孝のICTオンチ発言に、世界が驚愕した。これは、世界中で拡大するサイバー攻撃に対処する最高責任者がICTに無知で、国家のセキュリティが確保できるのかという統治能力への疑問だけでなく、大統領・首相や閣僚といった国家の最高責任者のスマホやメールが、国の機密情報の流出源になっているからである。今回はこの問題について報告する。

3 4 続インテリジェンスへのいざない 106

情報処理/管理能力が

劇的な格差社会を招く可能性

今井 武

同じ情報を共有するということと、同じ意思決定をするということとは別である。同じ情報から異なる意思決定をする。それが人が人である故の意思決定である。AIテクノロジー、高度な大量データベース活用による高度な意思決定が支援される時代にあって、その情報処理能力、情報管理能力によって、本格的競争/格差社会が到来するかもしれない。

3 6 連載 新語録(ごろく) 30

すぎやまちヒロ

本誌ホームページをご覧ください。

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,800円＋税 送料(〒300)
A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EDCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータウェアハウスの関係と刷新点	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正則化の問題点とデータウェアハウス	
第六章 データウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A5版 249頁

豊島 一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEDCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code標準によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析集積の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 331頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動とピクセス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動とピクセス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マテリアル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM KLEZの蔓延と国家記録
第二章 aism情報セキュリティ研究会の発足	第十二章 メールが騙かGLI
第三章 認知される電子署名方式の基本論	第十三章 任意ネットワークのための情報オーナーの構築
第四章 署名を駆けつけたCodeRedワーム	第十四章 第五のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 1万バグの常識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 WWW(インターネット)の脅威	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2002年度の事業活動	第十八章 ネット「まぼろし」作戦に当たったのつづき
第九章 情報セキュリティ研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の脅威と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム監査	第八章 変革対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 2,000円＋税 送料(〒300)
A4版 212頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 分散式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,400円＋税 送料(〒300)
A5版 280頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広域ビジネスの経営条件	■ 楽なことも企業体質
■ ニュースリリースは東方向優先	■ 守るも決めるも広報が窓口
■ 文字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のタイミング	＜付＞記事とうまく付き合うための読者(本とめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー
—IBM社会に挑んだ国際情報システム作りの物語—

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒300)
A5版 269頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本国子法の選い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米国チーム編組の依頼
第三章 新しシステムへの働き	第十三章 新しな陣っ
第四章 WDCに向けて	第十四章 米国チーム編組と新しな編み
第五章 F&C、IBM競争	第十五章 国際チーム編組とリンクアップ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本国子法と本業提携日程
第八章 米国チーム立ち上げの遅れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 探訪その一 直前、直後の苦しみ
第十章 米国チーム、新しなる三人組	第二十章 探訪その二 安定稼働と北米センター稼働

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp